2023年6月14日

報道関係者 各位

コレクション展示「ハンターのみた地球」

2023年7月6日(木)~8月8日(火)開催

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)では、コレクション展示「ハンターのみた地球」を、2023年7月6日(木)から8月8日(火)まで開催します。



マタギ

(日本・新潟県、撮影年:1984年、撮影:池谷和信)

[展示趣旨]

私たち人類が先史時代に世界の隅々まで拡散できたのは、狩猟に負うところが大きいといえます。太古より 私たちは各地で狩猟をおこない、獲物を分かちあいながら協力して生きぬいてきました。人類の歴史と狩猟は 切り離せない関係にあります。

本展示では、本館教授の池谷和信が世界を巡りアフリカのサバンナ、熱帯や温帯の森林、そして極北の海に住む現地のハンターたちに自ら弟子入りすることで得られたさまざまな狩猟の技術や知識、各地の狩猟場面を撮影した写真や映像を展示します。約40年にわたる自身の狩猟研究の集大成を紹介することで、世界の狩猟からみた地球と人とのかかわり方を考えることがねらいです。

[展覧会のみどころ]

- 本館の池谷和信が、自らハンターに弟子入りすることで得られたエピソードなどを紹介します。
- 世界各地に暮らすハンターの狩猟具や狩猟場面を、もの、写真、映像をとおして紹介します。
- 生存のための狩猟から楽しみのための狩猟まで、狩猟からみた「人間らしさ」とは何かついて考えます。

[資料点数]

写真 約60点、標本資料 約40点、映像資料 約14点

[展示構成]

0 イントロ

1 日本 山と森

クマの巻き狩り

穴見猟

イノシシ狩り(九州山地)

イノシシ狩り(西表島)

2 アフリカ サバンナのハンター

弓矢猟

毒をつくる

イヌの助けを借りて

ウマの助けを借りて

はね罠猟

3 アマゾン 熱帯林のハンター

ペットとともに

銃を使った猟

吹き矢猟

4 極北ロシア・ベーリング海 ツンドラの海のハンター

セイウチ猟

アザラシ猟

クジラ猟

リニューアルした中央・北アジア展示場

5 熱帯アジア 山と森のハンター

罠猟

弩を使った猟

笛と銃の使用

イノシシの送り儀礼

6 人間にとって狩猟とは何か 人間らしさを探る

肉を求める

つながりを求める

楽しさを求める

おわりに



狩猟用水筒 材質:キリンの胃袋 資料番号:H0204777



[実行委員長]



池谷 和信(国立民族学博物館・教授)

専門は人類学、地理学、地域研究(アフリカ、北東アジア)。主な著書・編著に、『トナカイの大地、クジラの海の民族誌―ツンドラに生きるロシアの先住民チュクチ』『人間にとってスイカとは何か――カラハリ狩猟民と考える』『狩猟採集民からみた地球環境史―自然・隣人・文明との共生』など。日本の山村での山菜採りやクマ狩りの研究から始めて世界中の狩猟採集の民族学的、地理学的研究をおこなってきた。

[開催概要]

展示名	コレクション展示「ハンターのみた地球」
会 期	2023年7月6日(木)~8月8日(火)
会場	国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園 10-1) 本館企画展示場の一部
開館時間	10:00~17:00(入館は 16:30 まで)
休 館 日	水曜日
観覧料	一般 580 円(490 円)、大学生 250 円(200 円)、高校生以下無料 ※()は 20 名以上の団体料金/リピーターは団体料金を適用 ※本館展示もご覧いただけます
主 催	国立民族学博物館



[関連イベント]

■ギャラリートーク

会 場 国立民族学博物館 企画展示場内

日 時 7月8日(土)、8月6日(日)

各日:14:00~14:30

講 師 池谷和信(本館 教授)

参加方法 申込不要/要展示観覧券



ロシア 海のハンター (ロシア、撮影年:2005年、撮影:池谷和信)

■ギャラリートーク

「ホモサピエンスの狩猟」

会 場 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)

日 時 7月30日(日) 14:00~14:30

池谷和信(本館 教授)

参加方法 申込不要/要展示観覧券

■みんぱくウィークエンド・サロン——研究者と話そう「人間にとって狩猟とは何か」

会 場 国立民族学博物館 本館展示場(ナビひろば)

日 時 7月23日(日) 14:30~15:00(14:00開場)

講 師 池谷和信(本館 教授)

参加方法 申込不要/要展示観覧券

狩りは、私たちの誕生した先史の時代から現在までかわらず人を魅了(みりょう)し続けています。狩りの魅力とは、い

ったい何でしょうか。世界の隅々(すみずみ)にくらすハンタ

一の生きざまをとおして狩りの意味や地球の未来を考えま

す。

内

容



カラハリ砂漠の弓矢ハンター (ボツワナ、撮影年:2003年、撮影:池谷和信)



■友の会講演会

内

容

第539回友の会講演会「人類の原点はハンターにあり!」

国立民族学博物館 第5セミナー室(定員90名) 会

8月5日(土) 13:30~15:00(13:00開場) B 時

関野吉晴(探検家)、池谷和信(本館 教授) 講 師

要事前申込/先着順

友の会会員:無料、一般:500円 参加方法

友の会ホームページ内、第539回友の会講演会受付フォームより

https://www.senri-f.or.jp/539tomo/

国立民族学博物館友の会(千里文化財団)

お問い合わせ

Tel:06-6877-8893

約700万年の人類の歴史のうち、狩猟採集生活の時代が99.8%を占めるといわれています。こ の時代に、共感力に富んだ社会性を育んだ人類は、地球全体へと拡散することに成功しまし た。その後、農耕や近代文明を発達させてきましたが、人間性の基盤をつくった狩猟採集の文 化はいまも世界中に見られます。人類拡散の旅路を逆ルートからたどった探検家と、世界各地 の狩猟採集社会の調査を続ける研究者が語り合い、ハンターをとおして人類の普遍性や未来

をさぐります。

[お問い合わせ] 国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話: 06-6878-8560(直通) Fax: 06-6875-0401 Mail: koho@minpaku.ac.jp

プレス向けウェブサイトwww.minpaku.ac.jp/press

コレクション展示「ハンターのみた地球」広報用画像リスト



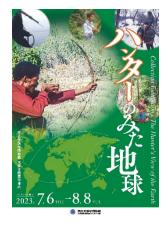
【1】マタギ (日本・新潟県、撮影年:1984年、撮影:池谷和信)



【2】カラハリ砂漠の弓矢ハンター (ボツワナ、撮影年:2003年、撮影:池谷和信)



【3】ロシア 海のハンター (ロシア、撮影年:2005年、撮影:池谷和信)



【4】コレクション展示チラシ

これらの広報画像はデータにて提供可能です。 ご入り用の画像があれば、総務課広報・IR 係まで次頁申込用紙にてお申し込みください。 名称につきましては、展示場での表記と異なる場合がございます。



コレクション展示「ハンターのみた地球」広報用画像利用申込用紙

[メールでお申し込みの場合] koho@minpaku.ac.jp [FAXでお申し込みの場合] FAX番号: 06-6875-0401

【ご	希望の画像番号】					
【貴	社・貴機関についてお知らせください。】					
	貴社・貴機関名	媒体名				
	ご担当者名	所属部署				
	ご住所 〒	E-mail				
	電話番号	FAX番号				
	ご掲載・放映の予定日が決まっている場合		年	月	日	
【プ	レゼント用招待券】(ご希望の場合はどちらかにチ 3組6枚	・ェックを入	れてくだる	さい)		
※ ヲ	チケット発送先が上記所在地と異なる場合は、下記にご記入くだ	ださい。				
発送先 〒						

【広報に関するお願い】

- 写真使用に関するお願い、注意事項
 - ・クレジットには次のとおり記載してください。
 - 【1】~【3】国立民族学博物館 提供
 - ・写真(画像)のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
 - ・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を上記連絡先までお送り願います。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。